受験番号			技術部門
問題番号			選択科目:
答案使用枚数	枚目	枚中	専門とする事項:

(1)	技	術	者	不	足	の	懸	念	ح :	技	術	者	確	保	: O	課	題	į				
(1) –	1	実	務	で	求	め	ら	れ	る	ス	キ	ル	논	現	状	の	不	_	致	の	観	点
	課	題	:		ア	ナ	口	グ	技	術	の	実	務	ス	牛	ル	向	上					
	デ	ジ	タ	ル	化	の	進	む	現	代	で	Ł	`	実	務	に	お	٧٧	て	ア	ナ	П	グ
技	術	の	理	解	は	欠	か	せ	な	い	0	し	か	し	`	大	学	ゆ	0	J	Т	で	は
デ	ジ	タ	ル	技	術	教	育	に	偏	重	し	`	若	手	技	術	者	の	ア	ナ	П	グ	技
術	の	習	得	機	会	が	不	足	し	て	٧١	る	0	Ĺ	の	状	況	は	`	実	務	11	<u> </u>
ズ	ح	技	術	者	の	保	有	ス	キ	ル	と	の	間	に	ギ	ヤ	ツ	プ	を	生	み	`	技
術	者	不	足	の	要	因	ح	な	つ	て	ķ١	る	①	0	Ĺ	の	ギ	ヤ	ツ	プ	を	解	消
す	る	た	め	`	ア	ナ	口	グ	技	術	の	実	務	ス	キ	ル	向	上	が	課	題	_2	で
あ	る	0																					

- ① ニーズに対するものとして、供給を説明したいですね。そうでないと、ギャップが技術者不足を生 み出している仕組みをイマイチ理解しづらいです。→「・・・技術者が供給できるスキルにギャッ プが生じ、・・・」
- ② 少々分かりづらい表現です。端的に「アナログ技術の承継が課題」、または「アナログ技術の習得 が課題」としてはいかがでしょうか。

(1)-	2	実	務	の	生	産	性	(省	力	化	な	ど)	の	観	点					
	課	題	:		中	小	企	業	に	お	け	る	自	動	化	促	進						
	<u>中</u>	小	企	業	で	は	R	Р	A	等	に	ょ	る	業	務	の	自	動	化	が	進	ん	で
V١	な	٧٧	0	رع	の	結	果	`	複	雑	化	が	進	む	定	型	業	務	の	多	<	が	属
人	化	し	`	技	術	者	の	負	担	が	増	加	し	て	い	る	3	0	Ţ	れ	に	よ	ŋ
技	術	者	は	専	門	能	力	を	活	か	し	た	業	務	に	注	力	で	き	ず	`	業	務
に	お	け	る	4	技	術	者	不	足	を	助	長	し	て	い	る	0	よ	つ	て	`	<u>中</u>	小
企	業	に	お	け	る	<u>(5)</u>	自	動	化	促	進	が	課	題	で	あ	る	0					

受験番号			技術部門
問題番号			選択科目:
答案使用枚数	枚目	枚中	専門とする事項:

- 自動化が進んでいないとどうして属人化するのですか。さらに、属人化するとなぜ負担が増えるの ですか。要因との結果の関連性が不明であり、支離滅裂に見えます。また、結論が自動化であるに もかかわらず、最初に自動化が進んでないと説明するのも短絡的に感じてしまいます(自動化して ないから自動化するという稚拙な組み立てになっています)。もっと、自動化を必要とする背景を 書きましょう。例えば、以下のような構成が考えられます。
 - ・技術者の業務は多様化・複雑化(現状)
 - ・この業務にはルーチンワークや単純作業が多く含まれており技術者の負担が増加(問題)
 - ・技術者には専門能力を発揮できる環境が必要(必要性)
 - ・自動化が課題 (結論)
- ④ 業務が繰り返されており、読みづらいです。「業務における」は不要。
- ⑤ なぜ中小企業に限定するのですか。中小企業において自動化が必要である理由(背景)が必要で す。解決策も中小企業にフィーチャーしているので、ここをもっと説明しないといけません。自動 化の必要性のみの説明になっています。

																							_
(1) -	3	専	門	分	野	の	魅	力	や	発	展	性	の	観	点							
	課	題	:		技	術	開	発	と	並	行	し	た	ブ	ラ	ン	デ	イ	ン	グ	強	化	
	電	気	電	子	分	野	は	社	会	イ	ン	フ	ラ	を	支	え	技	術	革	新	を	牽	引
す	る	技	術	分	野	で	あ	る	_6	0	し	か	し	`	そ	の	社	会	貢	献	や	魅	力
が	+	分	に	認	知	さ	れ	て	٧٧	な	ķ١	0	۲	の	た	め	技	術	者	を	目	指	す
人	材	が	不	足	し	て	い	る	7	0	ょ	つ	て	`	技	術	開	発	ط	広	報	を	連
携	し	`	魅	力	を	発	信	す	る	ブ	ラ	ン	デ	イ	ン	グ	強	化	が	課	題	_8	で
あ	る	0																					

受験番号			技術部門
問題番号			選択科目:
答案使用枚数	枚目	枚中	専門とする事項:

- ⑤ 「分野は、・・・分野である」とねじれています。→「電気電子分野は、社会インフラを支え技術 革新を牽引している」
- ⑥ 技術者では広すぎますね。不足しているのは、電気電子技術者です。また、人材不足との表現も 少々違和感があります(技術者になりうる人材はいるけど、技術者を希望しないといった状況)。
 - →「電気電子技術者を目指す者は減少している」
- ⑦ 端的な表現が望まれます。→「技術開発と同時にその魅力を発信するブランディングが課題」

(2)		最	ŧ	重	要	と	考	え	る	課	題	と	解	決	策								
	最	重	要	課	題	:	(1)	-QF	þ <i>/</i>	小 1	È Ì	業 し	۲ ٪	તે <i>l</i>	ナニ	5 I		助(匕 1	足 ì	焦			
	理	由	:	他	の	課	題	ょ	り	早	期	に	取	組	む	ل	논	が	出	来	る	た	め	0
(2) -	1	解	決	策	1	:	自	動	化	機	器	の	標	準	化	に	よ	る	コ	ス	ト	減	
<	ハ	_	ド	ウ	エ	ア	技	術	>		<u>企</u>	業	規	模	に	ょ	Ġ	ず	自	動	化	シ	ス	
テ	ム	を	導	入	で	き	る	ょ	<u>ځ</u>	`	初	期	コ	ス	ト	削	減	を	図	る	_8	0	具	
体	的	に	は	`	自	動	化	機	器	の	構	成	要	素	(セ	ン	サ	•	ア	ク	チ	ユ	
エ	_	タ	•	制	御	ユ	1	ツ	ト	等)	を	モ	ジ	ユ	<u> </u>	ル	化	す	る	0	ま	た	`
異	な	る	メ	_	力	間	で	互	換	性	が	維	持	で	き	る	ょ	う	`	メ	<u> </u>	力	間	
で	技	術	協	力	を	行	い	標	準	規	格	化	を	推	進	す	る	9	0					

- ⑧ 「企業規模によらず自動化システムを導入できるよう」というのは、「中小企業における自動化促進」という課題と同義です。ここで書くべき目的は、「初期コスト削減」ではありませんか。「初期コスト削減」が手段のように見えます。手段(解決策)は、見出しにある「自動化機器の標準化」ではありませんか。→「初期コスト削減を図るため、自動化機器の標準化を進める」
- ⑨ メーカ間と述べているので、異なっているのは明白です。また、「メーカ間」が連続して使用されており、読みづらいです。さらに、維持だともともと互換性があったように見えます。→「メーカ間で技術協力を行い、互換性を持たせるための標準規格を定める」

受験番号			技術部門
問題番号			選択科目:
答案使用枚数	枚目	枚中	専門とする事項:

(2) -	②角	军 汔	ト 第	美 2	2	: 7	ተ -	- 5	プ こ	/)	/ -	- <i>)</i>	ス)) ;	7)	(0SS)	の	活	用		
	<	ソ	フ	ト	ウ	工	ア	技	術	>		<u>企</u>	業	間	で	自	動	化	1	ウ	ハ	ウ	を
共	有	す	る	た	め	03	SS を	活	用	す	る	0	0S	S-RP	Αプ	ラ	ツ	ト	フ	オ		ム	を
構	築	し	`	0SS	コ	11	ユ	11	テ	イ	で	相	互	扶	助	の	活	動	を	推	進	す	る
10	0	た	논	え	ば	`	カ	ス	タ	ム	ア	ク	シ	3	ン	や	A	Р	Ι	連	携	に	よ
る	機	能	拡	張	の	1	ウ	ハ	ウ	を	共	有	す	る	0	プ	ラ	ツ	ト	フ	オ	Ţ	ム
の	構	築	に	あ	た	つ	て	開	発	初	期	は	国	が	主	導	し	`	中	小	企	業	の
参	入	障	壁	を	低	<	し	_(11)	コ	111	ユ	=	テ	イ	の	活	性	化	を	図	る	0	

- ⑩ 一見して、中小企業において OSS を導入するのが解決策なのか、プラットフォームの構築が解決策 なのかよく分かりません。例示をみるとプラットフォームに軸足がおかれているようですが、OSS を提案している意図がつかめません。OSS のメリットは、誰でも利用可能、無料、カスタマイズ可 能、信頼性・安定性が高い、技術革新促進などが考えられます。この OSS のメリットとプラットフ オームによる技術支援の2段構えで導入促進を図るといったことが主旨だと理解されますので、 OSS のメリットについても言及した方が良いでしょう。
- ⑪ 開発初期?とは、ソフトウェアを開発するのですか。参入障壁とは、プラットフォームに参加する ことがハードルになっていること言うことなのですか。この一文で、結構混乱します。誰が何をや るのかを明確にしましょう。

(2) -	3	解	決	策	3	:	工	ツ	ジ	コ	ン	ピ	ユ	Ĺ	テ	イ	ン	グ	の	採	用	
	<	ハ	ļ	ド	ウ	エ	ア	•	ソ	フ	۲	ウ	エ	ア	技	術	>		ク	ラ	ウ	ド	ベ
<u> </u>	ス	の	自	動	化	シ	ス	テ	ム	で	は	通	信	遅	延	が	発	生	す	る	た	め	`
工	ツ	ジ	コ	ン	ピ	ユ	ſ	テ	イ	ン	グ	を	採	用	す	る	0	Ĺĭ	れ	に	ょ	ŋ	通
<u>信</u>	遅	延	を	低	減	し	自	動	化	に	よ	る	作	業	効	率	を	高	め	導	入	を	促
進	さ	せ	る	_122	0	実	装	の	際	`	エ	ツ	ジ	デ	バ	イ	ス	に	ラ	ズ	ベ	IJ	_
パ	イ	な	ど	の	汎	用	マ	イ	コ	ン	ボ	J	ド	を	活	用	し	コ	ス	<u>۱</u>	を	抑	え

计纸十 第二次封殿 增烧效安田纯

					坟게	Л Т ⁻	7	ý — ·	汉平	、映	13	と1990~	合系	Э Д)	队								
	受験	番号											技征	術部	門								
	問題	番号											選打	尺科目	:								7
:	答案(吏用相	效数			7	枚目			枚中	⇒	1	専門	月とす	る事	項:							
												_											_
<u>る</u>	_(13)	0																					
<u> </u>)指	摘通	iりの	修正	です	が、	改め	てみ	ると	導入	を促	進す	るの	は本	来の	目的	にな	って	しま	って	いる	ので、	
		·歩手	前の	効果	にと	どめ	た方	がよ	り良	いと	考え	ます	$_{\circ}$ \rightarrow	رح	れに	より	通信:	遅延	を低	減し	、作	業効	率
	T)	向上	:を自	動化	導入	.のイ	ンセ	ティ	ブと	する	。」												
(13) _]	スト	を抑	える	こと	とこ	れま	での	説明	との	関係	性が	分か	りづ	らい	ので	、イ	ンセ	ンテ	ィブ	の効;	果をは	さ
	Ġ	に高	iめる	とい	った	文脈	とし	た方	が良	いと	思い	ます	\rightarrow	٢.		コス	トを	抑え	るこ	とで	、自	動化	導
	入	効果	しをさ	らに	:高め	る」							•										
		->>			1.4.2																		
(3)		新	た	な	IJ	ス	ク	ځ	対	策												
(3) -	1	新	た	な	IJ	ス	ク															
	0SS	の	活	用	や	AP	I連	携	に	よ	る	機	能	拡	張	に	よ	ŋ	`	外	部	ネ	ツ
ト	ワ	_	ク	^	の	接	続	が	増	え	る	0	ĹĬ	れ	に	よ	り	`	サ	イ	バ	_	攻
撃	に	よ	る	業	務	停	止	や	情	報	流	出	な	ど	`	情	報	セ	キ	ユ	IJ	テ	イ
リ	ス	ク	が	増	大	す	る		0														
	\ =-	1±1.0	いえい	17		.2 % 1.24	ملا ، ا	7 0	L		44	J-)-	L. 18	ッま	بد تما	レッ	2. N∀:	\ .18	r n	مل ما	DI-	¥ a	,,
14																				ます。	,以	前の	ا ا
H	ス	ク	自動	1化に	よる	技術	力の	仏 卜) の	方が	艮い	と思	いま	す (:	表現	は要	見直	し)。	o				-
(3) -	2	対	策																			
(0	定	期	的	な	セ	キ	ユ	IJ	テ	イ	教	育	を	全	従	業	員	に	実	施	し		セ
キ	ユ	J	テ	イ	意	識	の	向	上	1を	図	る		主ま	た		フ	ア	イ	ルア	ウ	オ	
ル	ュや	侵	入	 検	思 知	iii シ	ス	円 テ	ム	等	の	多	。 層	ェ 防	御	、に	加	え	-1	ゼ	ワロ	ト	ラ
ス	٠ <u>,</u>	セ	キ		リ	テ		ノ モ	デ	ずル	に	多基	僧 づ	ر را روا	が た	対	策	も	施	す		1,	
	·		·	ユ	ッ 者		イ		· ·	·	理	卒		·	の	· 持	続	り 可	能	9 性	0		
	4)		技	術	·	<u>ك</u>	し	て	の	倫		`	社	会	V)	抒	初	нĵ	肥	1生			
(4) –	1	技	術	者	と	し	て	の	倫	理												

の安全を第一

衆

公

に 考 え る

と が 要

件

で

新技

ある

受験番号			技術部門
問題番号			選択科目:
答案使用枚数	枚目	枚中	専門とする事項:

				_								_											
術	の	導	入	に	あ	た	つ	て	信	頼	性	に	留	意	し	安	全	性	を	最	優	先	で
確	保	す	る	0	特	に	`	自	動	化	機	器	の	暴	走	等	に	ょ	り	労	災	を	発
生	さ	せ	な	V١	ょ	う	`	<u>フ</u>	エ	イ	ル	セ	<u> </u>	フ	の	設	計	を	行	う	_(<u>15</u>	0	
⑤ 問われていることは、要件・留意点です。何が留意点なのか明確にしましょう。例えば、「フェイルセーフに留意した設計」といった形が望ましいです。																							
	1	1		ı	1	I	1			ı			ı						I .				l .

L							•															•	
(4) -	2	社	会	の	持	続	可	能	性													
	新	技	術	開	発	と	導	入	に	あ	た	つ	て	長	期	的	視	点	を	持	つ	۲	と
が	要	件	で	あ	る	0	限	Ġ	れ	た	IJ	ソ	ĺ	ス	で	長	期	に	わ	た	り	維	持
管	理	の	可	能	な	シ	ス	テ	ム	を	設	計	す	る	0	新	技	術	は	段	階	的	な
導	入	ح	し	`	現	行	業	務	の	中	断	を	招	か	な	٧١	ょ	う	留	意	す	る	0
以	上																						